



ひろげよう! まちづくりの輪 ~手と手をつなぐ大家族リレー~



今月号より、まちづくり協議会で汗を流す方の、活動内容やまちづくりへの想いなどを紹介します。

トップバッターは 高取まちづくり協議会 神谷 俊夫さん (稗田川「花と緑ふれあい公園」プロジェクトチームリーダー)



▲神谷俊夫さん

◆高取小学校区の自慢と言えば「稗田川」ですね

稗田川は、幼少のころに川遊びをしたり魚や昆虫を採ったりと、自然が豊かで思い出がたくさん詰まった場所。「今を生きる子どもたち、未来の子どもたちに自慢のふるさとを残していきたい」、そんな想いから平成22年度から5か年計画で稗田川「花と緑ふれあい公園」プロジェクトを進めています。

◆プロジェクトでは、どんな取り組みを進めているのですか?

「ほかの地域にはない特徴・個性を持った空間づくり」をモットーに、小橋～中学橋の区間(約900m)に5年間で黄色の彼岸花6万球とライラックなどの花木300本を植栽する予定です。定期的に草刈・剪定も行い、子どもからお年寄りまで地域の多くの方たちと連携・協力しながら、植栽や維持管理、交流事業に取り組んでいます。



◆将来、稗田川がどんな空間になっていくのか、楽しみですね

稗田川は高取小学校区内の4町(本郷町・清水町・向山町・論地町)がつながり合う場であり、川を通じて住民同士の絆も育まれていくと考えています。最近では稗田川沿いで散歩やジョギングを楽しむ人も増え、「稗田川は地域の“財産”だね」と声をかけていただくこともあります。私たちの取組みが地域のため、市民の皆さんのために役立っているのかな、と感じています。9月下旬には彼岸花が見ごろを迎えます。デジカメコンテストの作品も募集していますので、カメラ持参で散歩してみてください。



◆みなさんの活動の原動力は何ですか?

老若男女が集まり、わいわいがやがやとおしゃべりをしながら手をかけ、汗を流す。「楽しい」ということが原動力の1つでしょうか。そして、毎年活動を繰り返していくことにより、自分たちの流した汗がだんだん目に見える形となっていく。「あの時に植えた彼岸花が立派に咲いた!」と感無量の気持ちになるとともに、「もっといいまちにしていきたい」という郷土愛が芽生えてきます。みなさんも1年に1日、1時間でもいいので、ぜひ、私たちと一緒に汗を流してみませんか?

◆息の長い取組みですが、今後の抱負をお聞かせください

1人ひとりが少しずつ力を持ち寄って手をかけていけば、手をかけた分だけ、地域はよくなっていきます。次の世代へどうつなげていくか、それが私たちの役目です。「黄色の彼岸花が咲き誇る風景を見るまでは死ねない。だから、元気で長生きしなくちゃいかんぞ」と、冗談を言い合っています。

そして、将来は小学校区を越え、稗田川流域全体にこうした取組みが広がり、お互いに手と手をつなぎながら、夢や希望を持って、我がふるさとの魅力に磨きをかけていけたら…と思っています。



▲稗田川「花と緑ふれあい公園」プロジェクトメンバーのみなさん

衣浦定住自立圏 市民活動情報サイト「かりや衣浦つながるネット」

高浜市では、刈谷市・知立市・東浦町との連携により、市民活動情報サイト「かりや衣浦つながるネット」を4月より、Web公開しています。市民活動やボランティア活動の情報を共有することで、人と人、人と活動をつなぎ、市民活動の活性化に役立てていただきたいと思います。

イベント・ボランティア情報が満載ですので、皆さん、ぜひご覧ください。また、市民活動団体の皆さんは、ぜひ登録をお願いします。

ホームページアドレス <http://tsunagaru.genki365.net/>
問合せ先 市役所地域政策グループ ☎52-1111(内線366)

